

ポートフォリオって知っている？

皆さんはポートフォリオという言葉を知っていますか。いま、就職面接時にポートフォリオを持参してきてくださいという場合があります。特に、デザインやアート系の業界では、就職試験時に提出を求められることが一般的にあります。早稲田大学や昭和大学、美術・デザイン系専門学校では、ポートフォリオを作成し、自らのポートフォリオを学生生活や就職活動に活かしています。また、帝京大学ではAO入試で合格した生徒には、入学前にラーニングポートフォリオを提出させています。

ポートフォリオ(Portfolio)とは、本来の語源はイタリア語のポルタフォリオ(Portafoglio)で、「札入れの財布」を意味します。因みに横浜駅東口地下街にある「ポルタ」は、このポルタフォリオと同じ接頭辞のポルタで「門」とか「扉」を意味します。このポルタフォリオが英語ではポートフォリオとなり、ポートが港の意味で、港に陸揚げされる物品リストを示すようになったといわれています。そこから更に「紙ばさみ」「書類入れ」という意味になったようです。正式には書類を出し入れすることのできるケースという方が適切な意味だと思います。このポートフォリオという言葉は、近年は入社試験のみならず、金融や教育にも用いられてきています。金融では金融商品の組み合わせで用いられ、教育では生徒が自らの活動履歴を提出するための活動履歴ケースの意味に用いられます。

このポートフォリオが高大接続改革に基づき、現1年次生から入試の合否判定に用いられことになりました。しかしながら高大接続ポータルサイト JAPAN



e-Portfolio の画面には、現在の3年次生が受験する平成31年度入学試験において、JAPAN e-Portfolioを活用する大学・入学制度一覧が記載されています。これによると選抜データとして活用する大学は、国立大学では群馬大学の推薦入試、大阪教育大学の推薦入試があります。私立大学でも関西大学、関西学院大学の一部入試で活用されま

す。

他には、今後の入学者選抜改革に向けて参考・参照として利用する大学の一

覧が記載されています。例えば、国立大学では東京医科歯科大学、金沢大学など、公立大学では秋田の国際教養大学、横浜市立大学(指定校推薦)、私立大学では青山学院大学、桜美林大学、國學院大學、大妻女子大学、上智大学、関東学院大学などが一部の入試で活用する予定です。さらに、統計データとして活用する大学として公立大学の首都大学東京(AO・推薦)、横浜市立大学(指定校推薦)、私立大学では立教大学(一部入試)、立正大学(指定校推薦)、関東学院大学(総合型選抜)、日本女子体育大学(一般入試)、東洋英和女学院大学(一部入試)などが活用します。各大学でどのように活用するのかは、現段階では公表されていない大学が多いだけに、今後の入試要項の動向に注意する必要があります。



© kwamei gakuen university 2017. All rights reserved.

現在、JAPAN e-Portfolioのポータルサイトに活用する大学の一覧は、平成30年5月31日現在のものです。アスタリスクの注を読むと、「大学からの更新を受け、随時更新していきます」と記されています。ということは、これからも参加する大学があるかもしれません。

自分の受験する大学が

JAPAN e-Portfolioを活用する大学の場合、受験生である生徒一人ひとりが、このJAPAN e-Portfolioのサイトに入り、自らのポートフォリオを作成しなくてはなりません。受験生にとって一般受験の勉強時間や、小論文、面接練習の時間以外に、ポートフォリオを作成する時間が必要となります。

ポートフォリオの入力画面を見ると、探究活動、部活動、学校行事、資格・検定、表彰・顕彰、生徒会・委員会などの項目があり、これらの項目に自らの活動実績を入力し、大学側に提出することになります。そのためには、自らの高校生活や学校外の活動記録を、メモ等に留めておく必要があります。そうでないと、大学出願時に急にポートフォリオを作成しようとしても、なかなか1・2年次の出来事を思い出すことができず、満足のいくポートフォリオを作成することができないと思います。自分の学習や部活動、委員会活動、資格などの記録等を、日記や生徒手帳などに記しておくことが大切です。

JAPAN e-Portfolioの活用する大学は、次年度以降も増えていきます。特に、現1年次生が出願する平成33年度入試では、ほとんど大学が活用することが予定されています。慌てないで済むように自らの記録を残しましょう。